

入 札 説 明 書

総合評価方式により工事希望型指名競争入札を下記のとおり行いますから、希望があれば米子市建設工事執行規則(平成17年米子市規則第106号)及び米子市会計規則(平成17年米子市規則第44号)を承知のうえ参加してください。

記

入札に付する工 事	工 事 名	市道昭和町大谷町1号線西大谷橋橋りょう補修工事		
	工 事 場 所	米子市大谷町地内	工期	契約日から 令和7年3月14日まで
契約条項を示す場所		米子市総務部契約検査課		
担 当 課		道路整備課		
入札保証金に関する事項		入札保証金	免除	
現 場 説 明 会		なし		
開 札 の 日 時 及 び 場 所		日時 場所	令和6年9月18日 午前9時30分 本庁舎202会議室	
契 約 保 証 に 関 する 事 項	請負代金の額が130万円を超える工事については、契約の締結と同時に請負代金額の10分の1以上の額を保証する次の各号の一に掲げる保証を付さなければならない。 (1) 契約保証金の納付 (2) 契約保証金に代わる担保となる有価証券等の提供 (3) 銀行若しくは市長が確実と認める金融機関又は保証事業会社(公共工事の前払金保証事業に関する法律(昭和27年法律第184号)第2条第4項に規定する保証事業会社をいう。以下同じ。)の保証 (4) 公共工事履行保証証券による保証 (5) 履行保証保険契約の締結			
前 払 金	有	40%以内		
部 分 払	有	回数は、米子市建設工事執行規則による ※部分払いに替えて中間前払の選択も可		
入札に関する 注 意 事 項	1. 開札前天災地変等のやむを得ない事由が生じたとき、又は競争の意思がないと認められるときは、入札の執行を中止し、又は取り止めることがある。 2. 入札参加者が1者であっても、入札を執行するものとする。 3. 入札に参加する者に必要な資格のない者のした入札及び米子市郵便入札実施要領第4条に定める入札は、無効とする。 4. 入札者は、到達した入札書は、書換え、引換え又は撤回することができない。 5. 入札者は、入札書到達後においても入札執行の完了までは入札の参加を辞退することができる。 6. 本件入札においては、入札者を米子市総合評価方式による競争入札試行要領に規定する方法で採点評価した評価値が最も高い者を落札予定者とし、応募書類等について審査した後に落札決定する。 7. 評価値が最も高い者が2者以上あるときは、当該者にくじを引かせて落札者を決定するものとする。 8. 失格基準価格を下回る額による入札を行った入札者は、失格とする。 9. 入札書に工事費内訳書及び配置技術者工事成績調書(これに添付する書類を含む。)が同封されていない場合は、失格とする。 10. 落札決定にあたっては、入札書に記載された金額に10%に相当する額を加算した金額をもって落札価格(円未満切捨て(単価契約を除く。))とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税業者であるか免税業者であるかを問わず、見積もった契約希望額の110分の100に相当する金額を入札書に記載する。 11. 入札参加者は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律(昭和22年法律第54号)等に抵触する行為を行ってはならない。 12. 入札回数は、1回とする。			
そ の 他 の 注 意 事 項	1. 米子市工事希望型指名競争入札実施要領に定める経営内容等が不健全な申込者及び工事成績が不良な申込者は、不指名とすることがある。また、同一入札における資本的、人的関係にある複数の申込者のうち1者のみを指名し、他の者を不指名とすることがある。 2. 申込時に届けのあった配置予定技術者の変更は、入札書差出期限まで変更可能とし、その後の変更は原則として認めないものとする。 3. 同一の主任技術者は、米子市が発注した工事(通常型指名競争入札及び随意契約によるものを除く。)に3件を超えて従事することはできないものとする。 4. 別に定める「建設工事に係る配置予定技術者の取扱いについて」における重複申込者に該当する者は、配置予定技術者重複届出書を所定の方法により提出すること。なお、入札結果により配置予定技術者がいなくなった場合は、失格とする。 5. 工事現場に配置する技術者等(主任技術者、監理技術者及び現場代理人をいう。)は、当該建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係(第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係が存在することをいう。)が申込日までに3ヶ月以上ある者に限るものとする。			
施工に関する 注 意 事 項	1. 工事設計図書 別添のとおり 2. 本工事の施工にあたっては、鳥取県制定「土木工事共通仕様書」、「土木工事施工管理基準」、「公共建築工事標準仕様書」又はその他別に定める仕様書等に基づき実施しなければならない。 3. この契約に係る工事の施工にあたっては、ダンプカー協会加入車を優先的に使用するよう努めること。 4. 工事着手前に自治会長及び地元関係者に連絡すること。			
米子市建設工事執行規則第14条により公にする予定価格		¥61,068,700		
調査基準価格		(直接工事費＋共通仮設費＋現場管理費の9/10＋一般管理費の5.5/10)×1.1		
失格基準価格		(直接工事費＋共通仮設費＋現場管理費の9/10＋一般管理費の5.5/10)×0.99×1.1		
総合評価方式で決定する調査基準価格は、1.1を乗ずる前の価格の1万円未満の端数を切り上げて算定する。失格基準価格はさらに0.99を乗じた価格の1万円未満の端数を切り上げて算定する。				

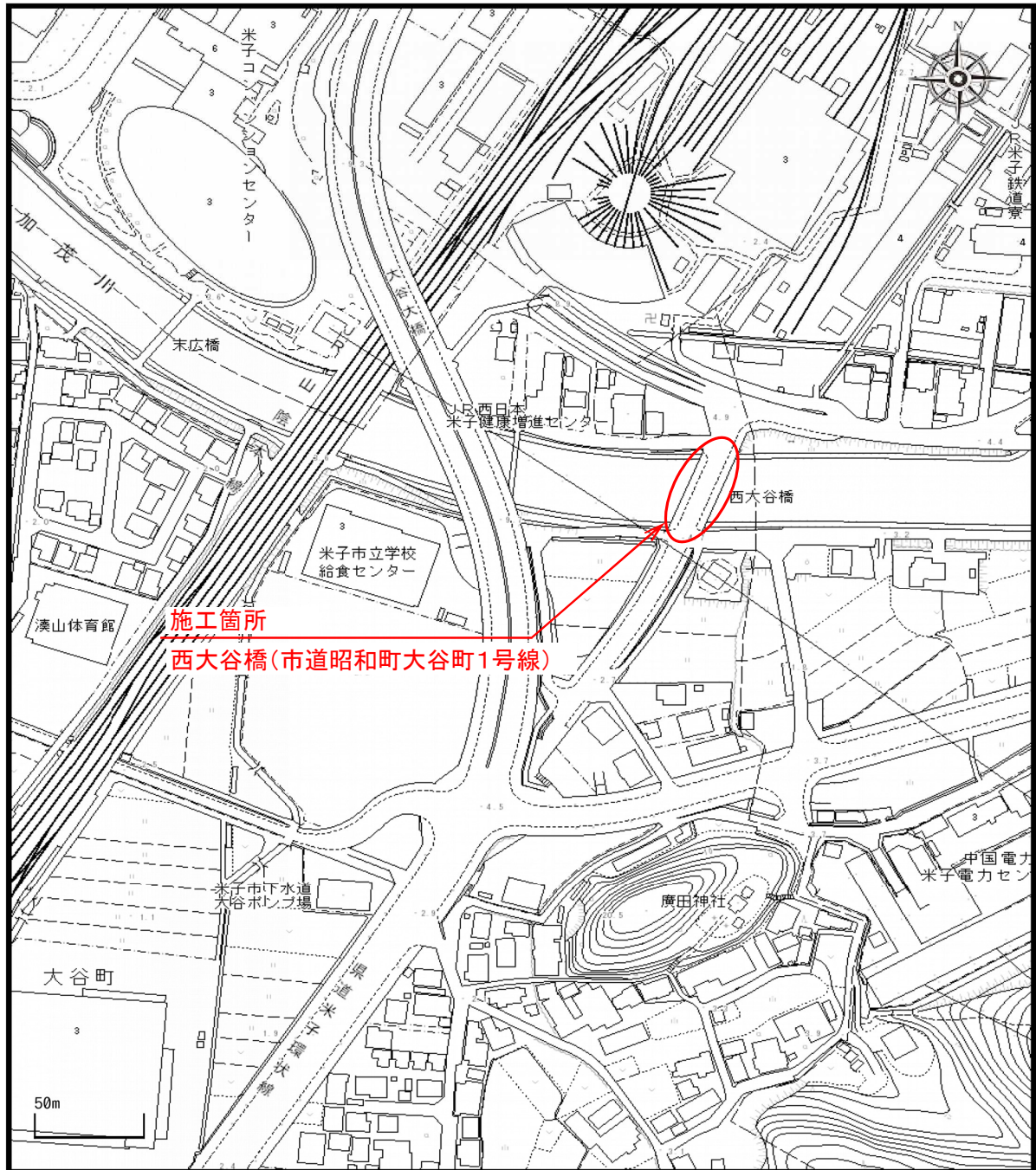
工 事 設 計 書

令和 6 年度	工事名	市道昭和町大谷町 1 号線西大谷橋橋りょう補修工事				
		部長	課長	担当課長補佐	審査	設計
設 計 金 額	円					
工 期	契約日 から 令和7年3月14日 まで					
工 事 場 所	米子市 大谷町 地内					
工 事 概 要	橋長L=41.5m 幅員W=14.0m 橋梁付属物工 一式 橋梁補修工 一式 現場塗装工 一式 構造物撤去工 一式 仮設工 一式					

米 子 市

位置図

西大谷橋



工 事 数 量 総 括 表

工 事 名	市道昭和町大谷町1号線西大谷橋橋りょう補修工事					事業区分	橋りょう補修	
						工事区分	橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別		規 格	設計表示		数量 (前回)	数量 (今回)	数量 増減	摘要
			単位	数値				
本工事費								
橋梁保全工事			式					
橋梁付属物工			式					
橋梁用防護柵工			式					
	橋梁用高欄	高欄	m	1		83		
	コンクリート削孔	削孔深さ200mm以上400mm以下	孔	1		200		
	樹脂カプセル	ARケミカルセッター AP-20相当	本	1		200		
	橋名板		枚	1		4		
橋梁補修工			式					
ひび割れ補修工			式					
	低圧注入工法	ひび割れ補修工 補修延べ延長50.0m	構造物	1		1		
表面処理工			式					
	下地処理工	サンダーケレン	m ²	1		168		
	被覆材塗布工	高分子系浸透性防水材	m ²	1		168		
断面修復工			式					
	左官工法	断面修復、鉄筋ケレン・防錆処理を含む 修復延べ体積0.026m ³	構造物	1		1		
		断面修復、鉄筋ケレン・防錆処理を含まない 修復延べ体積0.216m ³	構造物	1		1		
舗装版クラック補修工			式					
	クラック注入工	樹脂系注入材	m	1		61		
	注入材	常温硬化型アクリル樹脂系	kg	1		27		
沓座モルタル補修工			式					
	沓座モルタル補修工	極小規模無収縮モルタル工	式	1		1		
		無収縮材	kg	1		150		
目地補修工			式					
	目地補修工		m	1		4		

工 事 数 量 総 括 表

工 事 名		市道昭和町大谷町1号線西大谷橋橋りょう補修工事				事業区分	橋りょう補修	
						工事区分	橋梁保全工事	
工事区分・工種・種別・細別		規 格	設計表示		数量 (前回)	数量 (今回)	数量 増減	摘要
			単位	数値				
現場塗装工			式					
素地調整			式					
	塗替塗装	清掃・水洗い	m ²	10		160		
		塗膜剥離剤塗布・塗膜除去 鈑桁構造・箱桁構造	m ²	10		480		
		湿式塗膜剥離剤 ネオリバー泥パック橋梁用TypeⅡ相当	kg	1		238		
		廃材の回収・積込	m ²	10		480		
橋梁塗装工			式					
	素地調整	塗替塗装 素地調整 2種ケレン	m ²	10		160		
	下塗り	塗替塗装 下塗り塗装（2回塗り） 有機ジンクリッチペイント	m ²	10		160		
		塗替塗装 下塗り塗装（2層） 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	m ²	10		160		
	中塗り	塗替塗装 中塗り塗装 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	m ²	10		160		
	上塗り	塗替塗装 上塗り塗装 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	m ²	10		160		
構造物撤去工			式					
防護柵撤去工			式					
	防護柵撤去工	防護柵撤去	m	1		83		
運搬処理工			式					
	殻運搬	現場発生品・支給品運搬2t級 運搬距離3.0km以下	t	1		3		
		殻運搬 運搬距離8.0km以下	m ³	0.1		0.3		
		現場発生品・支給品運搬2t級 運搬距離23.5km以下	t	0.1		0.4		
	殻処分	スクラップ ヘビーH1相当	t	1		3		
		Co殻処分費 無筋	t	0.1		0.6		
		塗膜 鉛含有	kg	1		412		
仮設工			式			1		

1 仕様書

この契約において仕様書とは、特に定めのない限り「鳥取県土木工事共通仕様書」をいう。

2 下請関係の合理化について

- (1) この契約に係る工事の的確な施工を確保するため、下請契約を締結しようとする場合は、「建設産業における生産システム合理化指針」及び「鳥取県建設工事における下請契約等適正化指針」の趣旨に則り、優良な専門工事業者の選定、合理的な下請契約の締結、代金支払等の適正な履行、適正な施工体制の確立、下請における雇用管理等の指導等を行い本指針の遵守に努めること。
- (2) 中小建設業者に対する取引条件の適正化及び資金繰りの安定化等に資するため、元請業者は下請業者に対して、発注者から受取った前払金の下請業者への支払い、下請代金における現金比率の改善、手形期間の短縮等、下請代金支払の適正化について配慮すること。
- (3) 請負者は、下請契約を締結した場合は、施工体制台帳及び施工体系図を発注者に速やかに提出しなければならない。また、当該施工体制台帳及び施工体系図下に変更があったときは、変更が生じた日から 20 日以内（完成時においては、完成通知書の提出時）に変更後の書類を提出しなければならない。
- (4) 工事の一部を第三者に請け負わせる場合、又は工事に伴う交通誘導等の業務を第三者に委託する場合には、市内及び県内業者（以下「市内業者等」という。）との契約に努めること（優先順位は市内、県内の順位とする）。ただし、技術的に施工又は対応できる市内業者等がない工事等を請け負わせ又は業務を委託する場合、あるいは市内業者等で施工できても工程的に間に合わない等、特段の理由がある場合は、この限りでない。

3 建設資材等について

- (1) 工事に使用する資材については適法に生産されたものとする。
- (2) この契約に係る建設資材納入業者との契約に当たっては、当該業者の利益を不当に害しないよう公正な取引を確保するよう努めること。
- (3) 工事に使用する資材については、「県土整備部リサイクル製品使用基準」に基づき、リサイクル製品を積極的に活用すること。
- (4) リサイクル製品以外の工事に要する資材の使用順位は、次のとおりとする。
 - ① 市内産の資材がある場合は、市内産の資材の使用に努めること。ない場合は、県内産について同様の取り扱いとする。
 - ② 県外産の資材を使用する場合は、市内に本社又は営業所、支店等を有する販売業者（以下「市内販売業者」という。）から購入した資材の使用に努めること。市内販売業者がないときは、県内販売業者について同様の取り扱いとする。ただし、当該資材について市内販売業者又は県内販売業者がない場合は、この限りでない。

4 工事の安全確保について

この契約に係る工事の施工に当たっては、労働安全衛生法、労働安全衛生規則等を遵守し、労働災害の防止に努め、また工事中の交通事故防止について、特に留意すること。

5 建設機械の使用について

- (1) 標準操作方式建設機械を使用するよう努めること。
- (2) 施工現場及びその周辺の環境改善を図るため、低騒音型・低振動型の建設機械を使用するよう努めること。
- (3) 排ガス対策型建設機械の使用については、排ガス対策型建設機械の使用基準について（平成 17 年 11 月 15 日付第 200500080172 号県土整備部長通知）によること。

6 団体加入車の使用促進について

「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第 12 条に規定する団体の設立状況を踏まえ、同団体への加入車の使用を促進するよう努めること。

7 ダンプトラック等による運搬について

- (1) 積載重量制限を超えて工事用資機材等を積み込まず、また積み込ませないようにすること。
- (2) さし柵装着車、不表示車等による違法運行は行わず、また行わせないようにすること。
- (3) 過積載車両、さし柵装着車、不表示車等から工事用資機材等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
- (4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし柵装着車、不表示車等による違法運行を行っている場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (5) 建設副産物の処理及び工事用資機材等の搬入・搬出等に当たって、下請事業者及び工事用資機材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (6) 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。
- (7) 産業廃棄物の運搬車については、車体の外側に、環境省令で定めるところにより、産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車である旨その他の事項を見やすいように表示し、かつ、当該運搬車に環境省令で定める書面を備え付けること。また、産業廃棄物処理業者に委託して産業廃棄物を運搬する場合、この表示、備え付けを行わせること。
- (8) 以上のことにつき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。

8 不正軽油使用の禁止について

工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む）並びに建設機械等の燃料として、地方税法（昭和 25 年法律第 226 号）に違反する軽油等を使用しないこと。

9 建設業退職金共済制度への加入等

- (1) 建設業者は、建設業退職金共済制度（以下「建退共」という。）に加入すると共に、その建退共の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。ただし、下請けを含むすべての労働者が、中小企業退職金共済制度、清酒製造業退職金共済制度、林業退職金制度のいずれかに既に加入済みで、建退共に加入することができないと認められる場合は、この限りでない。
- (2) 建設業者が下請契約を締結する際は、下請業者に対してこの制度の趣旨を説明し、原則として証紙を下請の延労働者数に応じて現物交付することにより、下請業者の建退共加入及び証紙の貼付を促進すること。なお、現物を交付することができない場合は、掛金相当額を下請代金中に算入することとし、契約書等に明記すること。
- (3) 請負業者は、工事現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。

10 建設業法の遵守について

- (1) 建設業法（昭和24年法律第100号）に違反する一括下請その他不適切な形態の下請契約を締結しないこと。
- (2) 建設業法第26条の規定により、請負業者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者または、専任の監理技術者については、適切な資格、技術力を有する者（工事現場に常駐して専らその職務に従事するもので、請負業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者に限る。）を配置すること。
- (3) 請負業者が工事現場ごとに置かなければならない専任の監理技術者は、1級施工管理技士等の国家資格者等で監理技術者資格者証の交付を受けている者を配置すること。この場合において、発注者から請求があったときは監理技術者資格者証を提示すること。
- (4) 建設業法第40条の規定により、請負業者は建設現場ごとに「建設業の許可票」を掲示すること。
- (5) 上記のほか、建設業法等に抵触する行為は行わないこと。

11 労働基準法の遵守

この契約に係る工事の施工に当っては、労働基準法等の趣旨に則り法定労働時間週40時間を遵守すること。

12 建設業からの暴力団排除の徹底について

- (1) 工事の施工に際し、暴力団等の構成員又はこれに準ずる者から不当な要求や妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、監督員に速やかにその旨を報告するとともに、警察に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
- (2) この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに監督員に協議すること。

13 現場代理人、追加技術者、主任技術者及び監理技術者の雇用関係について

- (1) 工事現場に配置する技術者等（技術者等とは、現場代理人、追加技術者、主任技術者、監理技術者及び技能士をいう。）は、所属建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものでなければならない。
- (2) 直接的雇用とは、技術者等とその所属建設業者との間に第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係（賃金、労働時間、雇用及び権利構成）が存在することをいい、恒常的な雇用関係とは一定の期間（3か月以上）にわたり当該建設業者に勤務し、日々一定時間以上職務に従事することが担保されていることに加え、技術者等と所属建設業者が双方の持つ技術力を熟知し、建設業者が責任を持って技術者等を工事現場に配置できるとともに技術者等が建設業者が有する技術力を、十分かつ円滑に活用して工事の監理等の業務を行うことができることをいう。

14 労働者の福祉向上について

- (1) 建設労働者の適切な賃金水準の確保、社会保険等（雇用保険、健康保険及び厚生年金保険）への加入など、労働者の福祉向上に努めること。なお、健康保険等の適用を受けない建設労働者に対しても、国民健康保険等に参加するよう指導に努めること。
- (2) 下請契約の締結に際しては、下請業者へ法定福利費を内訳明示した見積書（標準見積書という。）の提示を求め、提示された場合にはこれを尊重するとともに、社会保険等の法定福利費などの必要経費を適切に考慮するように努めること。

15 産業廃棄物の処理に係る税について

この契約に係る工事で発生する建設廃棄物のうち、鳥取県、岡山県、広島県等の産業廃棄物の処理に係る税条例を施行している自治体内に搬入する建設廃棄物については、産業廃棄物の処理に係る税が課税される場合があるので適切に処理すること。

16 コンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比

コンクリート構造物の耐久性を向上させるため、一般環境条件の場合のコンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリートについては5.5パーセント以下、無筋コンクリートについては6.0パーセント以下とする。

17 消費税及び地方消費税の適正転嫁等について

下請契約及び資材購入等において、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法（平成25年法律第41号）で禁止された転嫁拒否等行為を行わないなど、適切な対応を行うこと。

18 その他

- (1) 工事施工管理資料等については簡略化名称を使用できることとする。ただし、略称については、発注者と協議の上重複しないよう注意し、また、わかりやすく簡単なものとする。
- (2) コンクリート構造物については、「コンクリート構造物ひびわれ抑制対策指針」に基づき施工するものとする。
- (3) 建設副産物のリサイクル、熱帯木材型枠の削減等、環境対策について積極的に取り組むこと。
- (4) 労務費については、法定労働時間週40時間を考慮したものとしている。
- (5) 請負業者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負業者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）においても同様の義務を負う旨を定めなければならない。

(6) 舗装単独工事（アスファルト）においては、表層工、基層工及び上層路盤工を自社施工しなければならない。ただし、表層工、基層工及び上層路盤工であっても特殊工法部分についてはこの限りでない。

(7) 契約書第 25 条第 5 項の対応については、国土交通省「工事請負契約書第 26 条第 5 項（単品スライド条項）運用マニュアル（案）」に基づき請求を行うこと。なお当マニュアル中「工事請負契約書第 26 条」とあるのは「米子市建設工事請負契約書第 25 条」と読み替えるものとする。

契約書第 25 条第 6 項の対応については、国土交通省「賃金等の変動に対する工事請負契約書第 25 条第 6 項（インフレスライド条項）運用マニュアル（暫定版）」に基づき請求を行うこと。

現場説明書

令和6年6月1日改正
特記事項1

仕様書	本工事の施工に当たっては、契約日現在の次に掲げる仕様書等によること。 ・ <u>鳥取県土木工事共通仕様書</u> ・ <u>鳥取県土木工事施工管理基準</u> ・ _____	
工程	① （他工事等との調整） ② （部分完成、着工保留） ③（施工時間） ④ （余裕期間設定工事） ⑤ （鋼材の調達の遅れによる工期の延長） ⑥（週休2日工事）	_____については、_____と関連するので相互の連絡を密にすること。 _____については、_____まで_____（すること ・ しないこと）。 _____本工事_____の施工時間は、<u>8:30</u> ～ <u>17:00</u> とする。 本工事は、米子市余裕期間設定工事に係る実施要領（令和3年4月1日施行）の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。 工期については、調達公告のとおりとする。 この工事の工期には、鋼材調達期間として、_____か月を見込んでいるが、請負者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。 本工事は、米子市週休2日工事実施要領（土木工事）（令和3年4月1日施行）の対象工事である。本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い週休2日工事を実施すること。
用地関係	① （用地・物件等未処理）	本工事区間の_____には_____があるので、監督員と打合わせのうえ施工を行うこと。 なお、_____頃_____の予定である。
支障物件	①（埋設物等の事前調査） ② （支障物件） ③ （立木の置き場所）	工事にかかる地下埋設物等の事前調査については、[未調査・調査済み]である。 _____の施工に当って、_____が支障となっているが、_____までに移設が完了する見込みである。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。 工事用地内の立木は伐採し、_____に置くこと。
対公害	①（騒音振動対策）	「建設工事にともなう騒音振動対策技術指針」を順守すること。 本工事の施工に当っては、排出ガス対策型建設機械を使用すること。
安全対策	①（交通安全施設等）	一般交通等に支障を及ぼさないよう十分に注意して施工すること。 なお、交通整理の必要日数 <u>27</u> 日を見込んでいる。配置人員として、交通誘導員Aを合計 _____名（交代要員[有・無]）、交通誘導員Bを合計 <u>37</u> 名（交代要員[有・無]）を見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。 交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4号に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置しているとみなす。
排水処理濁水	① （濁水処理）	工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。 なお、これにより難しい場合は別途協議すること。

現場説明書

特記事項2

	【建設発生土（処理）】 ①（他工事等流用） ②（建設技術センター） ③（民間残土受入地） ④（土質改良プラント）	建設発生土は_____市・町・村_____地内の_____ 工事現場に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。 建設発生土は_____市・町・村_____地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。なお、処理費として、1 m³当たり円をセンターに支払うこと。 建設発生土は_____市・町・村_____地内の_____に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。なお、処理費として、1 m³当たり_____円を_____に支払うこと。 建設発生土は_____市・町・村_____地内の_____に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。なお、処理費として1 m³当たり_____円を_____に支払うこと。
建設副産物の処理	【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】 ⑤（分別解体等） ⑥（他工事等流用） ⑦（再資源化施設への搬出） （施設の名称・受入れ費用） （受入れ時間帯） （受入れ条件） ⑧（木材市場等へ売却） ⑨（最終処理等） ⑩（産業廃棄物の処理に係る税）	コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。その方法は、別表のとおりとする。 なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。 コンクリート塊 1 m³ 当り _____円 （本工事では断面修復工内で見込んでいる） コンクリート塊（鉄筋） 1 m³ 当り _____円 アスファルト塊 1 m³ 当り _____円 建設発生木材 1 m³ 当り _____円 [Co 雑割材・ _____] は、_____市・町・村 _____地内 _____工事現場に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。 コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。 再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。 なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。 コンクリート塊（無筋） <u>米子</u> 市・町・村 <u>夜見町</u> 地内の <u>（有）大成商事</u>（運搬距離 <u>7.6</u> km）、費用 1 t 当り <u>1,200</u> 円 コンクリート塊（有筋） _____市・町・村 _____地内の _____（運搬距離_____km）、費用 1 t 当り _____円 その他（廃プラスチック類・鉛含有） <u>境港市</u>・町・村 <u>潮見町</u> 地内の <u>三光（株）潮見工場</u>（運搬距離 <u>20.5</u> km）、費用 1 k g 当り <u>800</u> 円 8時～17時（平日） ア 路盤材、土砂、金属片等が、混入していないこと。 イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。 ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径_____cm 以下、長さ_____m以下であること。 エ 2次公害発生のある恐れがある物質（廃油等）を含まないこと。 建設発生木材は_____市・町・村 _____地内の _____への搬出（片道運搬距離_____km）を想定し、_____円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合は理由を付して協議すること。 _____については、_____市・町・村 _____地内の産業廃棄物処理場への搬出（片道運搬距離_____km）を想定し、その費用として1t 当たり _____円を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。 産業廃棄物処理業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。 産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を_____円見込んでいる。

現場説明書

特記事項3

建設副産物の使用	① （建設発生土の使用） ② （再生資材の使用）	_____ 工事から〔当該工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所：_____ に使用する。 1) C o 雑割材は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____ に使用する。 2) アスファルト・コンクリート切削殻は、_____ 工事から運搬し、使用箇所：_____ に使用する。 3) ・再生クラッシャーラン〔規格：_____ 〕は、使用箇所：_____ に使用する。 ・再生クラッシャーラン〔規格：_____ 〕は、使用箇所：_____ に使用する。 ・再生コンクリート砂〔規格：R S - _____ 〕は、使用箇所：_____ に使用する。 4) 再生加熱アスファルト混合物〔規格：_____ 〕は、使用箇所：_____ に使用する。 5) その他再生資材〔資材名：_____ 〕〔規格：_____ 〕は、使用箇所：_____ に使用する。
工事用道路	①（農地の一時転用について） ② （農地の賃貸借）	本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に所轄農業委員会と協議を行い、農地法第5条第1項に基づく農地一時転用の許可を得ること。 ア _____ の用途に使用するため、_____ 市・町・村 _____ 番地を賃貸借すること。 イ 土地賃貸借契約書に「米子市との建設工事請負契約に基づき、土地の貸借権は米子市が有することとし、原状復旧の責は米子市が負い、受注者がその任に当たるものとする。」を明記すること。 ウ 賃貸人に賃貸借料を支払うこと。 エ 工事完了後、速やかに農地の原状に復旧すること。 オ イにより契約した地番における、農地一時転用許可は不要である。
仮設備		

現場説明書

特記事項4

その他	①（労災補償に必要な保険の付保）	本工事において、請負者は労災補償に必要な任意の保険契約を締結すること。なお、この労災補償に必要な保険契約の保険料を予定価格に反映している。 本工事は、現場環境改善（率計上分）実施対象工事と〔する・しない〕。 下表の内容のうち原則として各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1実施内容ずつ（いずれか1項目のみ2実施内容）の合計5つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。 実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。 地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容（目的に資するものであること）について監督員の確認を受けること。 1内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。
	②（現場環境改善）	
	③（経費対象外・スクラップ費について）	既設高欄の撤去に伴うスクラップ費用については、共通仮設費、現場管理費、一般管理費等の対象額に含めない。なお、スクラップ費として40,000円/ tを想定している。

※明示する項目を_____部分に記入又は追記し、不要部分は——で削除して使用すること。

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)

分別解体等の計画等

工作物の構造 (解体工事のみ)		☐ 鉄筋コンクリート造 ☐ その他()	
工事の種類		☐ 新築工事 ☒ 維持・修繕工事 ☐ 解体工事 ☐ 電気 ☐ 水道 ☐ ガス ☐ 下水道 ☐ 鉄道 ☐ 電話 ☐ その他()	
使用する特定建設資材の種類 (新築・維持・修繕工事のみ)		☒ コンクリート ☐ コンクリート及び鉄から成る建設資材 ☒ アスファルト・コンクリート ☐ 木材	
工作物に関する調査の結果	工作物の状況	築年数 <u>不明</u> その他()	
	周辺状況	周辺にある施設 ☐ 住宅 ☒ 商業施設 ☐ 学校 ☐ 病院 ☐ その他() 敷地境界との最短距離 約 <u>10</u> m その他()	
工作物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容		工作物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容
	作業場所	作業場所 ☒ 十分 ☐ 不十分 その他(道路内での作業)	
	搬出経路	障害物 ☐ 有() ☒ 無 前面道路の幅員 約 <u>8</u> m 通学路 ☒ 有 ☐ 無 その他()	
	特定建設資材への付着物 (解体・維持・修繕工事のみ)	☐ 有() ☒ 無	
	その他		周辺住民への周知

工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法 (解体工事のみ)	
	①仮設	仮設工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用	
	②土工	土工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用	
	③基礎	基礎工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
	④本体構造	本体構造の工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用	
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☒ 手作業・機械作業の併用	
	⑥その他 ()	その他の工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
工事の工程の順序 (解体工事のみ)		☐ 上の工程における⑤→④→③の順序 ☐ その他() その他の場合の理由()		
工作物に用いられた建設資材の量 の見込み(解体工事のみ)		トン		
廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み(全工事)並びに特定建設資材が使用される工作物の部分(新築・維持・修繕工事のみ)及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分(維持・修繕・解体工事のみ)	種類	量の見込み	使用する部分又は発生が見込まれる部分(注)
		☒ コンクリート塊	0.6トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☒ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥
		☐ アスファルト・コンクリート塊	トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥
		☐ 建設発生木材	トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥
	(注) ①仮設 ②土工 ③基礎 ④本体構造 ⑤本体付属品 ⑥その他			
備考				

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

積 算 参 考 資 料

積算参考資料は、工事目的物を完成させるための手段を拘束するものではありません。

総括情報表

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	54 米子市 設計書 当初 06-*****-00010-10 0 1 実施単価 30 米子市 00-06.08.10(0) 1 公共				
	当 世 代	前 世 代		当 世 代	前 世 代
工種 現場環境改善費 施工地域 契約保証区分 豪雪割増 工期算定区分 週休二日補正係数	38 橋梁保全工事 01 率計上する（地方部） 13 一般交通影響有り(2) 01 金銭保証（0．04％） 01 豪雪割増あり 02 算出しない 12 月単位の週休2日				

本工事費 内訳書

頁0-0002

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費							X1000
橋梁保全工事							Y1G03 (レ^\ Ⅱ1)
				一式			
橋梁付属物工							Y1G0321 (レ^\ Ⅱ2)
				一式			
橋梁用高欄工							Y1G032106 (レ^\ Ⅲ3)
				一式			
橋梁用高欄							Y1G03210601 (レ^\ Ⅳ4)
				m			
橋梁用高欄 高欄(各種) 組立式 塗装							SPK23040297 00 A=1,B=2,C=22,D=100
		83		m			単第0 -0001 表 060810
伸縮ジョイント加工費							W0001
		2		個所			
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ200mm以上400mm以下							SPK23040118 00 A=2
		200		孔			単第0 -0002 表 060810
樹脂カ^\セル ARケミカルセッター AP-20 相当							F0000000023 00
	建設物価2024.8 P71	200		本			060810

本工事費 内訳書

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋名板 ブロンズ3字程度 300×150×13					TTL0105 00
	4	枚			060810
橋梁補修工					Y1G0324 (レ^\ Ⅱ2)
		一式			
ひび割れ補修工					Y1G032404 (レ^\ Ⅲ3)
		一式			
低圧注入工法					Y1G03240402 (レ^\ Ⅳ4)
		構造物			
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長50m					S1020037 00 A=50.0,B=1,C=1.19,D=2,E=12.0,F=3,G=200
	1	構造物			単第0 -0003 表 060810
表面処理工					Y3999 (レ^\ Ⅲ3)
		一式			
表面含浸工					Y4999 (レ^\ Ⅳ4)
		一式			
表面含浸工 4週8休以上					V1010 00
	168	m ²			単第0 -0004 表 060810
断面修復工					Y1G032405 (レ^\ Ⅲ3)
		一式			

本工事費 内訳書

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
左官工法						Y1G03240501 (レベール4)
			構造物			
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.1m3未満の場合	1		構造物			S1020039 00 A=5,B=0.026 単第0 -0005 表 060810
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない) 修復延べ体積0.216m3	1		構造物			S1020045 00 A=0.216,B=5,C=0.216 単第0 -0006 表 060810
舗装版クラック補修工						Y3999 (レベール3)
			一式			
クラック注入工						Y4999 (レベール4)
			一式			
舗装ひびわれ補修工	61	m				V1011 00 単第0 -0007 表 060810
沓座モルタル補修工						Y3999 (レベール3)
沓座モルタル補修工						Y4999 (レベール4)
極小規模無収縮モルタル工						V0013 00
橋梁補修補強工事積算の手引きP205	1		一式			単第0 -0009 表 060810

本工事費 内訳書

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
無収縮材 セメント系 プレミックスタイプ					F0000000009 00
県単価	150	kg			060810
目地補修工					Y4999 (レ^\ル4)
		一式			
目地補修工					V0025 00
	4	m			単第0 -0010 表 060810
現場塗装工					Y1G0325 (レ^\ル2)
		一式			
橋梁塗装工					Y1G032501 (レ^\ル3)
		一式			
素地調整					Y1G03250101 (レ^\ル4)
		m2			
塗替塗装 清掃・水洗い					SDT00029 00 A=1,B=1,H=1,I=1
	160	m2			単第0 -0011 表 060810
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去 鈹桁構造・箱桁構造					V0004 00
	480	m2			単第0 -0012 表 060810
湿式塗膜剥離剤 ネオリバー泥パック橋梁用Type 同等品 水系(エマルジョン) 建設物価2024.8 P196					F0000000014 00
	238	kg			060810

本工事費 内訳書

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
廃材の回収・積込					V0005 00
	480	m2			単第0 -0013 表 060810
塗替塗装 素地調整					SDT00029 00 A=1,B=2,C=2,H=1,I=1
	160	m2			単第0 -0014 表 060810
下塗					Y1G03250102 (レ^Ⅱ4)
		m2			
塗替塗装 下塗り塗装					SDT00029 00 A=1,B=4,D=5,H=1,I=1
	160	m2			単第0 -0015 表 060810
塗替塗装 下塗り塗装					SDT00029 00 A=1,B=4,D=2,F=1,H=1,I=1
	160	m2			単第0 -0016 表 060810
中塗					Y1G03250103 (レ^Ⅱ4)
		m2			
塗替塗装 中塗り塗装					SDT00029 00 A=1,B=5,E=2,F=1,G=1,H=1,I=1
	160	m2			単第0 -0017 表 060810
上塗					Y1G03250104 (レ^Ⅱ4)
		m2			
塗替塗装 上塗り塗装					SDT00029 00 A=1,B=6,E=3,F=1,G=1,H=1,I=1
	160	m2			単第0 -0018 表 060810

本工事費 内訳書

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
構造物撤去工						Y1G0327 (レ^\ Ⅱ2)
			一式			
防護柵撤去工						Y1G032701 (レ^\ Ⅲ3)
			一式			
防護柵撤去						Y4999 (レ^\ Ⅳ4)
高欄撤去						SPK23040126 00
	83	m				単第0 -0019 表 060810
運搬処理工						Y3999 (レ^\ Ⅲ3)
殻運搬						Y4999 (レ^\ Ⅳ4)
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離3.0km以下(1.5km超)						SPK23040410 00 A=1,B=2,C=3
	3	t				単第0 -0020 表 060810
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離8.0km以下(5.7km超)						SPK23040152 00 A=1,B=1,C=2,D=34,E=1
	0.3	m3				単第0 -0021 表 060810
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離23.5km以下(20.0km超)						SPK23040410 00 A=1,B=2,C=17
	0.4	t				単第0 -0022 表 060810

本工事費 内訳書

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
投棄料						#0041 C=投棄料
			一式			
処分費 コンクリート殻 無筋						TTV0430 00
	0.6	t				060810
処分費 塗膜(廃プラ)、鉛含有 処分先：三光(株) 見積り						W0001
	412	kg				
スクラップ						Y4999 (レ^\ Ⅱ4)
			一式			
スクラップ 鉄くず ヘビー H 1						TTU0052 00
	3	t				060810 8
仮設工						Y1G0328 (レ^\ Ⅱ2)
			一式			
仮設防護柵						Y3999 (レ^\ Ⅱ3)
仮設防護柵工						Y4999 (レ^\ Ⅱ4)
単管パイプ 3m 10日間使用 想定						V0024 00
	28	本				単第0 -0023 表 060810

本工事費 内訳書

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
スタンダードバリケード					V0043 00
	30	台			単第0 -0024 表 060810
仮足場工					Y3900 (レール3)
		一式			
足場					Y4900 (レール4)
		m2			
吊足場 タイプA2 シート+板張防護 現場環境条件補正：1.1 橋梁架設工事の積算 P4-12	136	m ²			V0018 00 単第0 -0025 表 060810
片側朝顔防護足場 タイプE シート+板張防護 現場環境条件補正：1.1 橋梁架設工事の積算 P4-13	157	m2			V0019 00 単第0 -0026 表 060810
手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場 単管足場					S0380 00 A=2,B=1
	18	掛m2			単第0 -0027 表 060810
湿式剥離剤工用養生シート工					V0023 00
現場環境条件補正：1.1 橋梁架設工事の積算 P4-161	524	m2			単第0 -0028 表 060810
現場環境対策資機材					Y4900 (レール4)
		一式			
現場環境対策資材					V0011 00
	1	一式			単第0 -0029 表 060810

本工事費 内訳書

頁0-0010

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通管理工						Y1G032821 (レハ ⁺ Ⅱ3)
			一式			
交通誘導警備員						Y1G03282101 (レハ ⁺ Ⅱ4)
			人			
交通誘導警備員B						R0369 00
						060810
	37		人			1
* * 直接工事費 * *						
技術管理費						Z0006
鉄筋探査 下向き						V6001 00
	1		一式			単第0 -0030 表 060810
安全費						Z0009
安全衛生防護具						V0012 00
	1		一式			単第0 -0031 表 060810
現場環境改善費						Z0012

本工事費 内訳書

頁0-0011

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費						
* * 共通仮設費計 * *						
* * 純工事費 * *						
現場管理費						
* * 工事原価 * *						
一般管理費率分						
契約保証費						
一般管理費計						
* * 工事価格 * *						

本工事費 内訳書

頁0-0012

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
消費税相当額							
工事費計							

施 工 単 価 表

橋梁用高欄

SPK23040297

単第0 -0001 表

高欄(各種)

組立式 塗装

1

m 当り

機械構成比： 0.00%

労務構成比： 6.79%

材料構成比： 93.21%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	5.22%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
高欄 Alミ合金製景観配慮型防護柵同等品以上 塩害対策仕様 端部エンドキャップ含む 見積り	93.21%		高欄(鋼製) B種 丸・縦棧型 ビーム数3本 高さ1,000mm スパン2.0m めっき		F0000000100 TTPT00106
積算単価			積算単価		EP001
A=1 組立式 C=22 高欄(各種)			B=2 塗装 D=100 【F】高欄(m)		

施 工 単 価 表

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

SPK23040118

単第0 -0002 表

削孔深さ200mm以上400mm以下

1

孔 当り

機械構成比： 2.21% 労務構成比： 95.42% 材料構成比： 2.37% 市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 出力2kVA	1.04%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音		KTPC00041 KTPT00041
電動ハンマドリル 穴あけ能力 φ 38 ~ 40mm	0.73%		電動ハンマドリル 穴あけ能力 φ 38 ~ 40mm		MTPC00146 MTPT00146
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	45.33%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.17%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.84%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ガソリン レギュラー スタンド	1.90%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施 工 単 価 表

SPK23040118

単第0 -0002 表

1

孔 当り

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)

削孔深さ200mm以上400mm以下

機械構成比： 2.21% 労務構成比： 95.42% 材料構成比： 2.37% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
積算単価			積算単価		EP001
A=2 削孔深さ200mm以上400mm以下					

施 工 単 価 表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長 5 0 m

S1020037

単第0 -0003 表

1 構造物 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.900	人			RTPC00009 9
特殊作業員	4.800	人			RTPC00001 9
普通作業員	3.550	人			RTPC00002 9
土木補修用エポキシ樹脂注入材 1 種	1.190	kg			F0000000001 県単価
シール材	16.440	kg			F0000000002 県単価
低圧注入器具	200.000	個			F0000000003 見積り
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=50 1構造物当り補修延べ延長(m/構造物) C=1.19 注入材の必要数量(kg/構造物) E=12 シール材の設計数量(kg/構造物) G=200 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)			B=1 【F】注入材(kg) D=2 【F】シール材(kg) F=3 【F】低圧注入器具(個)		
土木一般世話役 = $L / 10 * D2 = 50.000000000 / 10 * 0.58 = 2.900$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 特殊作業員 = $L / 10 * D2 = 50.000000000 / 10 * 0.96 = 4.800$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 普通作業員 = $L / 10 * D2 = 50.000000000 / 10 * 0.71 = 3.550$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め シール材の材料使用数量 = 設計数量(kg) * (1 + ロス率) = $12.000000000 * (1 + 0.37) = 16.440$ (kg) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

表面含浸工
4週8休以上

V1010

施 工 単 価 表

単第0 -0004 表

頁0-0017

100 m² 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
高分子系浸透性防水材 アイゾールEX相当	25	k g			F0000000025 見積り
下地処理 4週8休以上	100	m ²			W0001 土木コスト情報2024.7 P442×補正係数1.04
含浸材塗布	100	m ²			W0001 土木コスト情報2024.7 P443×補正係数1.04
*** 合計 ***	100	m ²			
*** 単位当たり ***	1	m ²			

施 工 単 価 表

断面修復工(左官工法)
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)

S1020039
修復延べ体積0.1m3未満の場合

単第0 -0005 表

1 構造物 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	2.300	人			RTPC00009 9
特殊作業員	3.800	人			RTPC00001 9
普通作業員	2.500	人			RTPC00002 9
断面修復材 ポリマーセメントモルタル	0.031	m 3			F0000000005 県単価
諸雑費	11	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=5 【F】断面修復材(m3)			B=0.026	断面修復材の設計数量(m3/構造物)	
断面修復材の使用数量 = 設計数量(m3) * (1 + ロス率) = 0.026000000 * (1 + 0.18) = 0.031(m3) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

施 工 単 価 表

断面修復工(左官工法)
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない)

S1020045
修復延べ体積 0.216 m3

単第0 -0006 表

1 構造物 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	4.104	人			RTPC00009
特殊作業員	6.912	人			RTPC00001
普通作業員	4.536	人			RTPC00002
断面修復材 ポリマーセメントモルタル	0.255	m 3			F000000005
諸雑費	9	%			県単価 #09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=0.216 1構造物当り修復延べ体積(m3/構造物) C=0.216 断面修復材の設計数量(m3/構造物)			B=5	【F】断面修復材(m3)	
土木一般世話役 = $V / 0.1 * D4 = 0.216000000 / 0.1 * 1.9 = 4.104$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 特殊作業員 = $V / 0.1 * D4 = 0.216000000 / 0.1 * 3.2 = 6.912$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 普通作業員 = $V / 0.1 * D4 = 0.216000000 / 0.1 * 2.1 = 4.536$ (人) 小数第4位四捨五入小数第3位止め 断面修復材の使用数量 = 設計数量(m3) * (1 + ロス率) = $0.216000000 * (1 + 0.18) = 0.255$ (m3) 小数第4位四捨五入小数第3位止め					

舗装ひびわれ補修工

V1011

施工単価表

単第0 -0007 表

頁0-0020

100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
クラック補修	100	m			SPK23040307 単第0-0008 表
樹脂充填剤	44	k g			W0001 建設物価2024.8 P223
*** 合計 ***	100	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

クラック補修

SPK23040307

施 工 単 価 表

単第0 -0008 表

頁0-0021

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 100.00% 材料構成比： 0.00% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	64.71%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.97%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	11.61%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.5	人			RTPC00009 1
特殊作業員	1.5	人			RTPC00001 1
普通作業員	1	人			RTPC00002 1
諸雑費	6	%			#01
*** 単位当たり ***	1	一式			

目地補修工

V0025

施工単価表

単第0 -0010 表

頁0-0023

1 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
防水シリコン粘着シート B300 シンエツパッチシール 同等品	1	m			W0001 見積り
粘着テープ B25 パッチテープトウメイ 同等品	2	m			W0001 見積り
*** 単位当たり ***	1	m			

施 工 単 価 表

SDT00029

単第0 -0011 表

塗替塗装
清掃・水洗い

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_塗替塗装【材工共】 清掃・水洗い 時間的制約なし	1.000	m2			TDT001015
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 昼間施工 H=1 -			B=1 清掃・水洗い I=1 時間的制約なし		

塗膜剥離剤塗布・塗膜除去
 鈹桁構造・箱桁構造

V0004

施 工 単 価 表

単第0 -0012 表

頁0-0025

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去	1	m2			W0001
時間的制約無					土木コスト情報2024.7 P507×補正係数1.04
*** 単位当たり ***	1	m2			

廃材の回収・積込

V0005

施 工 単 価 表

単第0 -0013 表

頁0-0026

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
廃材の回収・積込 時間的制約無	1	m2			W0001 土木コスト情報2024.7 P508×補正係数1.04
*** 単位当たり ***	1	m2			

塗替塗装
素地調整

SDT00029

施工単価表

単第0 -0014 表

頁0-0027

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_塗替塗装【材工共】 素地調整_2種ケレン 時間的制約なし	1.000	m2			TDT001027
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 昼間施工 C=2 2種ケレン(動力工具と手工具の併用) I=1 時間的制約なし			B=2 素地調整 H=1 -		

施 工 単 価 表

SDT00029

単第0 -0015 表

塗替塗装
下塗り塗装

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_塗替塗装【材工共】 下塗り_有機ジングリッチペイント(2回/層) はけ・ローラー,時間的制約なし	1.000	m2			TDT001093
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 昼間施工 D=5 有機ジングリッチペイント(2回塗り/層) I=1 時間的制約なし			B=4 下塗り塗装 H=1 -		

施 工 単 価 表

SDT00029

単第0 -0016 表

1 m2 当り

塗替塗装
下塗り塗装

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_塗替塗装【材工共】 下塗り_弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(2層) はけ・ローラー,時間的制約なし	1.000	m2			TDT001069
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 昼間施工 D=2 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(2層) H=1 -			B=4 下塗り塗装 F=1 はけ・ローラー I=1 時間的制約なし		

施 工 単 価 表

SDT00029

単第0 -0017 表

1 m2 当り

塗替塗装
中塗り塗装

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_塗替塗装【材工共】 中塗り_弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用_赤系 はけ・ローラー,時間的制約なし	1.000	m2			TDT001129
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 昼間施工 E=2 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 G=1 赤系 I=1 時間的制約なし			B=5 中塗り塗装 F=1 はけ・ローラー H=1 -		

施 工 単 価 表

SDT00029

単第0 -0018 表

1 m2 当り

塗替塗装
上塗り塗装

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_塗替塗装【材工共】 上塗り_弱溶剤形ふっ素樹脂塗料_赤系 はけ・ローラー,時間的制約なし	1.000	m2			TDT001183
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 昼間施工 E=3 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 G=1 赤系 I=1 時間的制約なし			B=6 上塗り塗装 F=1 はけ・ローラー H=1 -		

高欄撤去

SPK23040126

施工単価表

単第0 -0019 表

頁0-0032

機械構成比： 5.57% 労務構成比： 92.71% 材料構成比： 1.72% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 1 m 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
トラック クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t級吊能力2.9t	5.57%		トラック クレーン装置付 ベーストラック4～4.5t級吊能力2.9t		MTPC00021 MTPT00021
溶接工	34.18%		溶接工		RTPC00019 RTPT00019
特殊作業員	28.02%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	14.44%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊運転手	13.78%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	1.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

頁0-0033

現場発生品及び支給品運搬

SPK23040410

単第0 -0020 表

クレーン装置付BT2t級2.9t吊

片道運搬距離3.0km以下(1.5km超)

1

t 当り

機械構成比： 14.21%

労務構成比：

82.66%

材料構成比：

3.13%

市場単価構成比：

0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t	14.21%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
特殊作業員	41.66%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	41.00%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	3.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 C=3 片道運搬距離3.0km以下(1.5km超)			B=2 DID区間有り		

施工単価表

頁0-0034

殻運搬

SPK23040152

単第0 -0021 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間有り 運搬距離8.0km以下(5.7km超)

1

m3 当り

機械構成比： 42.35%

労務構成比：

42.40%

材料構成比： 15.25%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	42.35%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	42.40%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	15.25%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=34 運搬距離8.0km以下(5.7km超)		

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬

SPK23040410

単第0 -0022 表

クレーン装置付BT2t級2.9t吊

片道運搬距離23.5km以下(20.0km超)

1

t 当り

機械構成比： 14.21%

労務構成比：

82.66%

材料構成比： 3.13%

市場単価構成比： 0.00%

標準単価：

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t	14.21%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
特殊作業員	41.66%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
特殊運転手	41.00%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 小型ローリー（パトロール給油）	3.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=17 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離23.5km以下(20.0km超)			B=2 DID区間有り		

施 工 単 価 表

頁0-0036

単管パイプ
3m

V0024
10日間使用 想定

単第0 -0023 表

1 本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
単管パイプ 10日間使用想定 足場パイプ 3,000×48.6×2.4相当	1	本			W0001 建設物価2024.8 P821
単管パイプ 基本使用料 足場パイプ 3,000×48.6×2.4 相当	1	本			F0000000008 建設物価2024.8 P821
*** 単位当たり ***	1	本			

スタンダードバリケード

V0043

施工単価表

単第0 -0024 表

1 台 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
スタンダードバリケード 10日間使用想定 単クランプ2個付き	1	台			W0001
スタンダードバリケード 基本料金	1	台			建設物価2024.8 P829 F0000000007
*** 単位当たり ***	1	台			建設物価2024.8 P829

V0018

現場環境条件補正：1.1

橋梁架設工事の積算 P4-12

1 m² 当り

シート+板張防護

[illegible]

施 工 単 価 表

片側朝顔防護足場 タイプE
シート+板張防護

V0019
現場環境条件補正：1.1

橋梁架設工事の積算 P4-13

単第0 -0026 表

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋りょう特殊工	0.1716	人			RTPC00020
足場損料	3.2	ヶ月			W0001
*** 単位当たり ***	1	m2			

施 工 単 価 表

手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場
単管足場

S0380

単第0 -0027 表

100 掛m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.900	人			RTPC00009 9
とび工	6.900	人			RTPC00004 9
普通作業員	1.800	人			RTPC00002 9
<賃>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊 オペレータ付	0.800	日			KTPC00014 長期割引適用外 9
諸雑費	29	%			#09
*** 合計 ***	100	掛m2			
*** 単位当たり ***	1	掛m2			
A=2 単管足場 C=0 潮待割増			B=1 安全ネットを設置しない		
潮待作業割増なし					

湿式剥離剤工用養生シート工

V0023
現場環境条件補正：1.1

施 工 単 価 表

橋梁架設工事の積算 P4-161

単第0 -0028 表

頁0-0041

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋りょう特殊工	0.0165	人			RTPC00020
足場損料	1	式（全損）			W0001
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
負圧集じん機レンタル料 56m3/min	1	台・月			W0001 見積り
負圧集じん機基管理料	1	台			W0001 見積り
負圧集じん機用1次フィルター	22	枚			W0001 見積り
負圧集じん機用2次フィルター	7	枚			W0001 見積り
負圧集じん機用HEPAフィルター	1	個			W0001 見積り
エアシャワー レンタル料	1	台・月			W0001 見積り
エアシャワー 基本管理料	1	台			W0001 見積り
エアシャワー用プレフィルター	3	枚			W0001 見積り
エアシャワー用HEPAフィルター	1	個			W0001 見積り
セキュリティルーム用 出入口カーテン ファスナー付き	2	個			W0001 見積り
セキュリティルーム用 足拭き用ニトクリーン	1	個			W0001 見積り
真空クリーナー レンタル料	1	台・月			W0001 見積り

施工単価表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
真空クリーナー 基本管理料	1	式・台			W0001 見積り
真空クリーナー用ﾌﾟﾗｽﾄｯｸ・Tﾉｽﾙ・ﾊﾟｲﾌﾟ	1	セット			W0001 見積り
真空クリーナー用ダストパック	18	枚			W0001 見積り
真空クリーナー用HEPAフィルター	1	個			W0001 見積り
*** 単位当たり ***	1	一式			

鉄筋探査
下向き

V6001

施工単価表

単第0 -0030 表

頁0-0044

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
技師 (A) (外業)	0.5	人			R0880 1
技師 (B) (外業)	1	人			R0890 1
技師 (C) (外業)	1	人			R0900 1
雑材料	5	%			#01
* * * 単位当たり * * *	1	一式			

施工単価表

1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
電動ファン付呼吸用防護具 全面形 Sy185V3 同等品	5	個			W0001 見積り
フィルタ V3 同等品	110	個			W0001 見積り
化学防護服 タイベック ソフトウェアー 同等品	220	個			W0001 見積り
シューズカバー タイベックス シューズカバー 同等品	220	個			W0001 見積り
化学防護手袋 ニトリルラテックス手袋 同等品	220	個			W0001 見積り
*** 単位当たり ***	1	一式			

西大谷橋 補修工事数量集計表

L1	L2	L3	L4	L5	単位	数	量	摘 要
工事区分	工種	種別	細別	規格				
橋梁保全工事								
	橋梁附属物工							
		高欄取替工						
		高欄撤去工			m	82.8		
		設置延長	C種 高欄兼用車両用防護柵		m	82.8		
			コンクリート削孔		孔	200		
			橋名板		枚	4		
		鉄筋探査工	下向き		m2	3.0		
橋梁補修工								
		ひびわれ補修工						
		ひびわれ注入工	エポキシ樹脂系1種		m	50.0		
		シール材	エポキシ樹脂系		kg	12.0		
		ひびわれ注入材	エポキシ樹脂系1種		kg	1.2		ロス率15%を含む
		注入器	低圧注入器		個	200		
		表面処理工						
		下地処理工	サンダーケレン		m2	168.0		
		被覆材塗布工	高分子系浸透性防水材		m2	168.0		
		被覆材	高分子系浸透性防水材		kg	44.1		ロス率5%を含む
		断面修復工						
		左官工法	ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・防錆処理を含む		m3	0.026		
		左官工法	ポリマーセメントモルタル 高欄撤去復旧		m3	0.216		
		舗装版クラック補修工						
		クラック注入工	樹脂系注入材		m	60.6		
		注入材	常温硬化型アクリル樹脂系		kg	27.0		ロス率10%含む
		沓座モルタル補修工						
		左官工法	無収縮モルタル 鉄筋ケレン・防錆処理を含まない		m3	0.08		
					kg	150.0		
		目地補修工						
		シール工			m	4.3		
		防水シリコン粘着シート	B300		m	4.3		
		端部シール用シリコン粘着テープ	B25		m	8.6		
現場塗装工								
		橋梁塗装工						
		清掃・水洗い			m2	158.9		
		塗膜剥離	湿式塗膜剥離剤（3回）・回収		m2	476.7		
		塗膜式剥離剤	橋梁用		kg	238.4		塗布量：0.5kg/m23回塗布
		素地調整	2種ケレン		m2	158.9		

西大谷橋 補修工事数量集計表

L1	L2	L3	L4	L5	単位	数 量	摘 要
工事区分	工種	種別	細別	規格			
			下塗	有機ジンクリッチペイント	m2	158.9	標準塗布量：300g/m2
			下塗	有機ジンクリッチペイント	m2	158.9	標準塗布量：300g/m2
			下塗	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料	m2	158.9	標準塗布量：200g/m2
			下塗	弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料	m2	158.9	標準塗布量：200g/m2
			中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	m2	158.9	標準塗布量：140g/m2
			上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	m2	158.9	標準塗布量：120g/m2
			環境対策資機材		式	1	
			安全衛生防護具		式	1	
	構造物撤去工						
		運搬処理工					
			現場発生品運搬		t	2.9	2回
			スクラップ処理	鉄 ヘビー H1	t	2.9	
			塗膜くず運搬・処分		kg	411.6	
			殻運搬	コンクリート塊(無筋)	m3	0.25	
			殻処理	コンクリート塊(無筋)	m3	0.25	
					t	0.59	
	仮設工						
		足場工					
			高欄取替用足場	桁・橋台・橋脚・支承補修足場 (TYPE-A2)	m2	136.1	
				防護柵補修足場 (TYPE-E)	m2	157.3	
			単管足場	クリーンルーム設置用	掛m2	17.6	
		防護工					
			湿式剥離剤工用養生シート工		m2	524.9	

1 - 1. ひび割れ補修工(注入)

項目	計算式	単位	数量
ひび割れ補修工			
ひび割れ注入工			
エポキシ樹脂注入材	補修延長 $L = 50.00$	m	50.00
	平均幅 $W = 0.0003$	m	0.0003
	注入深さ $H = 0.30 \times 200$ (ひびわれ幅の200倍と仮定)	mm	60
ひびわれ注入材	注入材 (比重 : 1.15、ロス15%) $W = 0.0003 \times 0.06 \times 1.15 \times 1000 \times 50.00 \times 1.15$	kg	1.19
シール材	幅50mm×厚3mm (比重 : 1.6) $W = 0.05 \times 0.003 \times 1.60 \times 1000 \times 50.00$	kg	12.00
注入器	注入器具 (0.25m間隔) $n = 50.00 / 0.25$	個	200

1-2. ひび割れ補修工計算書

ひび割れ数量

箇所	番号	幅:B(mm)	長さ:L(m)	補修延長(m)	B・L
床版	C1	0.20	0.20	0.20	0.040
小計				0.20	0.040
A1橋台	C2	0.20	0.50	0.50	0.100
	C3	0.20	1.20	1.20	0.240
	C4	0.20	1.00	1.00	0.200
	C5	0.20	0.30	0.30	0.060
	C6	0.40	1.60	1.60	0.640
	C7	0.30	2.00	2.00	0.600
	C8	0.20	0.70	0.70	0.140
	C9	0.30	0.30	0.30	0.090
	C10	0.20	0.65	0.65	0.130
	C11	0.30	1.30	1.30	0.390
	C12	0.20	0.30	0.30	0.060
	C13	0.30	0.90	0.90	0.270
	C14	0.20	1.60	1.60	0.320
	C15	0.20	2.10	2.10	0.420
	C16	0.20	0.75	0.75	0.150
	C17	0.30	1.10	1.10	0.330
	C18	0.30	1.65	1.65	0.495
	C19	0.20	1.80	1.80	0.360
	C20	0.40	1.60	1.60	0.640
	C21	0.20	1.55	1.55	0.310
	C22	0.20	1.60	1.60	0.320
	C23	0.30	1.35	1.35	0.405
	C24	0.25	1.20	1.20	0.300
	C25	0.20	0.30	0.30	0.060
	C26	0.20	0.45	0.45	0.090
	C27	0.30	0.90	0.90	0.270
	C28	0.30	1.45	1.45	0.435
	C29	0.20	0.70	0.70	0.140
	C30	0.20	0.85	0.85	0.170
	C31	0.20	1.00	1.00	0.200
	C32	0.30	1.50	1.50	0.450
	C33	0.20	0.70	0.70	0.140
	C34	0.30	0.70	0.70	0.210
	C35	0.20	1.10	1.10	0.220
	C36	0.30	0.70	0.70	0.210
	C37	0.30	1.10	1.10	0.330
小計				38.50	9.895
A2橋台	C42	0.60	1.80	1.80	1.080
	C43	0.50	0.90	0.90	0.450
	C44	0.20	0.80	0.80	0.160
	C45	0.50	1.40	1.40	0.700
	C46	0.20	1.40	1.40	0.280
	C47	0.50	1.65	1.65	0.825
小計				7.95	3.495

1-2. ひび割れ補修工計算書

ひび割れ数量

P1橋脚	C38	0.40	1.40	1.40	0.560
	C39	0.30	1.35	1.35	0.405
	C40	0.20	0.35	0.35	0.070
	C41	0.30	0.25	0.25	0.075
小計	3.35				1.110
補修延長合計				50.00	14.54

ひび割れ補修延長合計 = 50.00 m

ひび割れ平均幅 ($\Sigma B \cdot L / \Sigma L$) = 0.30 mm

2. 表面処理工（表面被覆工）

項目	計算式	単位	数量
表面被覆工			
下地処理工			
サンダーケレン	A1橋台 下部工補修図（1）より A= 42.81	m2	42.81
	P1橋脚 下部工補修図（2）より A= 81.93	m2	81.93
	A2橋台 下部工補修図（3）より A= 43.28	m2	43.28
	$\Sigma A =$	m2	168.02
被覆材塗布工	高分子系浸透性防水材 A= 168.02	m2	168.02
被覆材塗布	高分子系浸透性防水材 (1m2当り標準使用量0.250kg/m2 (0.125kg/m2×2回塗り)、ロス5%) W1= 168.02×0.25×1.05	kg	44.11

3 - 1. 断面修復工（左官工法）

項目	計算式	単位	数量
断面修復工 左官工法 断面修復材	延べ施工量 $V = 0.026$	m ³	0.026
	ポリマーセメントモルタル（単位体積重量：1925kg/m ³ ロス率18%） $V = 0.026 \times (1.00 + 0.18)$	m ³	0.031
	$W = 0.031 \times 1925$	kg	59.7
殻運搬	コンクリート構造物 人力積込 $V = 0.026$ ※ 殻数量は、断面修復数量と同量と仮定した。	m ³	0.03
殻処分	がれき類 $V = 0.026$	m ³	0.03
	$W = 0.026 \times 2.35$	t	0.061

3－2．断面修復工計算書

補修数量

番号	部 位	形状・寸法 (m×m)	補修面積 (m2)	補修深さ (m)	塗布面積 (m2)	補修体積 (m3)	備 考
D	床板下面						
H1		0.15 × 0.30	0.045	0.050	0.090	0.003	
T1		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.001	
	小計		0.055		0.120	0.004	
	A1橋台						
H2		0.25 × 0.50	0.125	0.050	0.200	0.007	
H3		0.15 × 0.15	0.023	0.050	0.053	0.002	
	小計		0.148		0.253	0.009	
	A2橋台						
H15		0.25 × 0.60	0.150	0.050	0.235	0.008	
H16		0.15 × 0.20	0.030	0.050	0.065	0.002	
	小計		0.180		0.300	0.010	
	P1橋脚						
H8		0.20 × 0.10	0.020	0.050	0.050	0.001	
H9		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.001	
T1		0.10 × 0.10	0.010	0.050	0.030	0.001	
	小計		0.040		0.110	0.003	
	合計		0.423		0.783	0.026	

4 - 1. 橋梁塗装工

項目	計算式	単位	数量
塗替え塗装工 橋梁塗装工 清掃・水洗い	面積 $A = 158.90$	m2	158.9
塗膜剥離	環境対応型 使用量:m2当り0.5kg 3回塗布 塗布面積 $A = 158.9 \times 3$	m2	476.7
	剥離剤使用量 $W = 158.9 \times 0.5 \times 3$	kg	238.4
塗膜くず運搬・処分	廃材の回収、積込(3回) 旧塗膜 (B塗装系新設時計上) $158.9 \times 1.09\text{kg/m}^2$	kg	173.2
	剥離剤	kg	238.4
	$\Sigma A =$	kg	411.6
素地調整	2種ケレン $A = 158.90$	m2	158.90
下塗り	有機ジンクリッチペイント:2回塗り $A = 158.90$	m2	158.90
	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料:2回塗り $A = 158.90$	m2	158.90
中塗り	弱溶剤ふっ素樹脂塗料 $A = 158.90$	m2	158.90
上塗り	弱溶剤ふっ素樹脂塗料 $A = 158.90$	m2	158.90

4-2. 橋梁塗装工計算書

塗替え塗装工 (湿潤型塗膜剥離)

主桁

A1橋台、A2橋台

G1, G7

U. FLG	0.24	×	1面	×	2	=	0.48	m ²
WEB	(0.95 + 0.70)	×	1面	×	2	=	3.30	m ²
L. FLG	(0.22 + 0.17)	×	1面	×	2	=	0.78	m ²
小計							=	4.56 m ²
2@ Σ							=	9.12 m ²

G2, G3, G4, G5, G6

U. FLG	0.21	×	1面	×	5	=	1.05	m ²
WEB	0.70	×	2面	×	5	=	7.00	m ²
L. FLG	(0.20 + 0.18)	×	1面	×	5	=	1.90	m ²
小計							=	9.95 m ²
2@ Σ							=	19.90 m ²

P1橋脚

G1, G7

U. FLG	0.28	×	1面	×	2	=	0.56	m ²
WEB	0.95	×	2面	×	2	=	3.80	m ²
L. FLG	(0.25 + 0.17)	×	1面	×	2	=	0.84	m ²
小計							=	5.20 m ²
2@ Σ							=	10.40 m ²

G2, G3, G4, G5, G6

U. FLG	0.28	×	1	×	5	=	1.40	m ²
WEB	0.95	×	2	×	5	=	9.50	m ²
L. FLG	(0.25 + 0.18)	×	1	×	5	=	2.15	m ²
小計							=	13.05 m ²
2@ Σ							=	26.10 m ²

主桁合計 = 65.52 m²

端横桁

A1橋台 (CB1)、A2橋台 (CB10)

U. FLG	0.19	×	1面	×	6	=	1.14	m ²
WEB	1.29	×	1面	×	1	=	1.29	m ²
〃	1.38	×	1面	×	5	=	6.90	m ²
主桁補剛材	0.12	×	2面	×	2	=	0.48	m ²
L. FLG (上面)	(0.19 + 0.05)	×	2	×	1面	×	6	= 1.74 m ²
L. FLG (下面)	(0.40 + 0.10)	×	2	×	1面	×	6	= 3.60 m ²
小計							=	15.15 m ²
2@ Σ							=	30.30 m ²

P1橋脚 (CB5, CB6)

U. FLG	0.39	×	1面	×	6	=	2.34	m ²
WEB	1.29	×	2面	×	1	=	2.58	m ²
〃	1.38	×	2面	×	5	=	13.80	m ²
横桁補剛材	0.09	×	1面	×	12	=	1.08	m ²
主桁補剛材	0.12	×	2面	×	2	=	0.48	m ²
L. FLG	(0.40 + 0.10)	×	2	×	2面	×	6	= 7.20 m ²
小計							=	27.48 m ²
2@ Σ							=	54.96 m ²
横桁合計							=	85.26 m ²

4-2. 橋梁塗装工計算書

塗替え塗装工（湿潤型塗膜剥離）

支承

A1橋台（可動）	0.27	×	1面	×	7	=	1.89	m ²
P1橋脚（固定）	0.31	×	1面	×	7	=	2.17	m ²
P1橋脚（可動）	0.27	×	1面	×	7	=	1.89	m ²
A1橋台（可動）	0.31	×	1面	×	7	=	2.17	m ²
支承合計						=	8.12	m ²
全体塗装面積						ΣA =	158.9	m ²

5－1．舗装版クラック補修工

項目	計算式	単位	数量
舗装版クラック補修工 クラック注入工 樹脂系注入材	補修延長 L= 60.60	m	60.60
	平均幅 W= 0.0070	m	0.007
	注入深さ（50mmと仮定） H= 0.05	m	0.05
	注入材（比重：1.14、ロス10%） n= $0.0070 \times 0.05 \times 1.14 \times 1000 \times 60.60 \times 1.1$	kg	27.00
注入材			

5-2. 舗装版クラック補修工計算書

ひび割れ数量

箇所	番号	幅：B (mm)	長さ：L (m)	補修延長 (m)	B・L
アスファルト舗装	1	10.0	2.0	2.00	20.00
	2	5.0	1.0	1.00	5.00
	3	5.0	1.0	1.00	5.00
	4	10.0	0.5	0.50	5.00
	5	7.0	0.5	0.50	3.50
	6	10.0	1.3	1.30	13.00
	7	7.0	0.7	0.70	4.90
	8	5.0	1.6	1.60	8.00
	9	5.0	1.0	1.00	5.00
	10	8.0	0.9	0.90	7.20
	11	8.0	2.3	2.30	18.40
	12	8.0	1.6	1.60	12.80
	13	6.0	1.0	1.00	6.00
	14	5.0	0.7	0.70	3.50
	15	8.0	4.4	4.40	35.20
	16	6.0	1.1	1.10	6.60
	17	5.0	0.7	0.70	3.50
	18	5.0	0.7	0.70	3.50
	19	7.0	1.0	1.00	7.00
	20	7.0	1.1	1.10	7.70
	21	8.0	1.5	1.50	12.00
	22	8.0	1.4	1.40	11.20
	23	5.0	0.7	0.70	3.50
	24	8.0	2.9	2.90	23.20
	25	8.0	1.0	1.00	8.00
	26	5.0	0.9	0.90	4.50
	27	5.0	0.5	0.50	2.50
	28	6.0	1.4	1.40	8.40
	29	8.0	1.5	1.50	12.00
	30	6.0	0.9	0.90	5.40
	31	10.0	4.7	4.70	47.00
	32	6.0	0.6	0.60	3.60
	33	8.0	0.6	0.60	4.80
	34	8.0	1.0	1.00	8.00
	35	6.0	0.7	0.70	4.20
	36	6.0	1.2	1.20	7.20
	37	10.0	2.3	2.30	23.00
	38	7.0	0.6	0.60	4.20
	39	5.0	0.6	0.60	3.00
	40	7.0	1.6	1.60	11.20
	41	8.0	3.5	3.50	28.00
	42	8.0	0.7	0.70	5.60
	43	6.0	1.2	1.20	7.20
	44	6.0	1.2	1.20	7.20
	45	8.0	1.9	1.90	15.20
	46	8.0	0.4	0.40	3.20
合計	平均幅	7.50		60.60	454.10

ひび割れ補修延長合計 = 60.6 m
 平均ひび割れ幅 (ΣB・L/ΣL) = 7 mm

6－1．沓座モルタル補修工

項目	計算式	単位	数量
沓座モルタル補修工 左官工法	無収縮モルタル（単位体積重量：1875kg/m ³ ） V= 0.080	m ³	0.08
	W= 0.080×1875	kg	150.0
殻運搬	コンクリート構造物 人力積込 V= 0.08 ※ 殻数量は、断面修復数量と同量と仮定した。	m ³	0.08
殻処分	がれき類 V= 0.08	m ³	0.08
	W= 0.08×2.35	t	0.188

6-2. 沓座モルタル補修工計算書

補修数量

番号	部 位	形状・寸法 (m×m)	補修面積 (m2)	補修深さ (m)	補修体積 (m3)	備 考
	A1橋台					
U4		0.25 × 0.45	0.113	0.055	0.007	
U5		0.20 × 0.20	0.040	0.070	0.003	
U6		0.15 × 0.20	0.030	0.060	0.002	
U7		0.20 × 0.15	0.030	0.060	0.002	
K1		0.20 × 0.25	0.050	0.060	0.003	
	小計		0.263		0.017	
	A2橋台					
K3		0.15 × 0.20	0.030	0.070	0.003	
U17		0.20 × 0.20	0.040	0.060	0.003	
U18		0.15 × 0.40	0.060	0.090	0.006	
	小計		0.130		0.012	
	P1橋脚					
H11		0.10 × 0.10	0.010	0.090	0.001	
K2		0.25 × 0.25	0.063	0.085	0.006	
U10		0.20 × 0.40	0.080	0.085	0.007	
U12		0.50 × 0.20	0.100	0.075	0.008	
U13		0.42 × 0.58	0.244	0.090	0.022	
U14		0.20 × 0.43	0.086	0.080	0.007	
	小計		0.583		0.051	
	合計		0.976		0.080	

7. 目地補修工

項目	計算式	単位	数量
シーリング	橋台:L= (0.10×2+0.431) ×4	m	2.52
	橋脚:L= (0.10+0.431+0.35) ×2	m	1.76
	ΣL=	m	4.28
防水シリコン粘着シート B=0.30m	L= 4.28	m	4.28
端部シーリング用シリコン粘着テープ B=0.025m	L= 4.29×2	m	8.56

8. 高欄取替工

項目	計算式	単位	数量
高欄取替工	※補修図（路上部補修図（1）より）		
高欄撤去工	$L = 41.40 + 41.40$	m	82.8
地覆はつり	1箇所当り $0.245 \times 0.245 \times 0.05$ 柱撤去本数 $N = 24 \text{本} \times 2$	本	48
	地覆はつり $V = 0.245 \times 0.245 \times 0.05 \times 48$	m ³	0.144
復旧工	既設高欄根入れ部 $V = 0.10 \times 0.10 \times 0.15 \times 48$ $V = 0.144 + 0.072$	m ³ m ³	0.072 0.216
	ポリマーセメントモルタル（単位体積重量：1925kg/m ³ ロス率18%） $V = 0.22 \times 1.18$ $W = 0.26 \times 1925$	m ³ kg	0.26 501
現場発生品運搬	45.6kg/mにて算出 $W = 82.8 \times 35 / 1000$	t	2.90
スクラップ処理	45.6kg/mにて算出 $W = 82.8 \times 35 / 1000$	t	2.90
設置延長	C種 高欄兼用車両用防護柵 $L = 41.40 + 41.40$	m	82.8
コンクリート削孔	削孔深さ200mm以上400mm以下 $N = 25 \times 4 \times 2$	孔	200
鉄筋探査工	下向き $A = 0.245 \times 0.245 \times 50$	m ²	3.0
橋名板		枚	4

9. 構造物撤去工

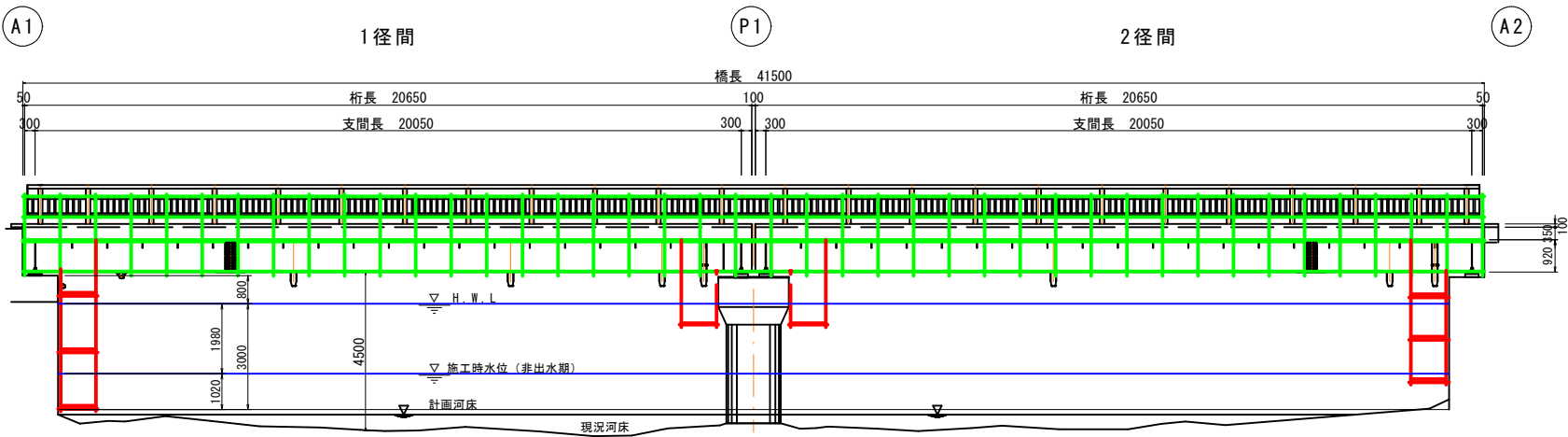
項目	計算式	単位	数量
運搬処理工 殻運搬	コンクリート構造物 人力積込		
	断面修復工（左官工法） V= 0.03	m3	0.03
	沓座モルタル補修工 V= 0.08	m3	0.08
	高欄取替工 V= 0.14	m3	0.14
	Σ V=	m3	0.25
殻処分	がれき類 V= 0.25	m3	0.25
	W= 0.25×2.35	t	0.588
殻運搬	V= 0.25	m3	0.25

10. 仮設工

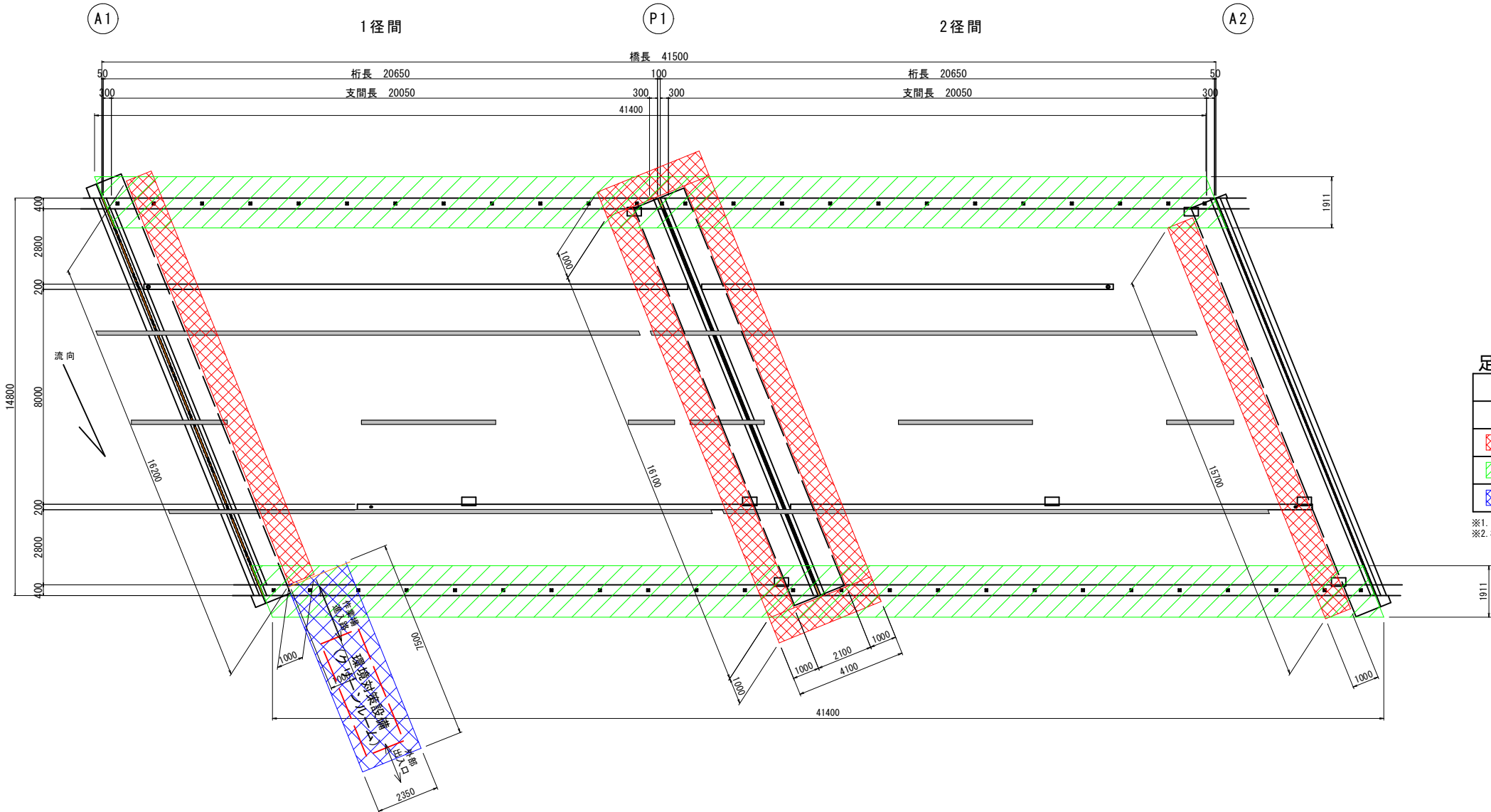
項目	計算式	単位	数量
足場工	※積算用足場仮設図より		
高欄取替用足場	桁・橋台・橋脚・支承補修足場 (TYPE-A2) $A = (1.0 \times 16.2 + 1.0 \times 15.7) \times 3 + (1.0 \times 16.1 + 1.0 \times 4.1) \times 2$	m2	136.1
	防護柵補修足場 (TYPE-E) $A = 1.9 \times 41.4 \times 2$	m2	157.3
	単管足場 クリーンルーム設置用 $A = 7.5 \times 2.35$	m2	17.6
湿式剥離剤工用養生シート工	地覆A1= $1.9 \times 41.4 \times 2 \times 3$	m2	472.0
	A2= (クリーンルーム) $\times 3$	m2	52.9
	$\Sigma A =$	m2	524.9
	仮設防護柵 (スタンドバリケード、単管パイプ3m) $L = 42.0$	m	42.0
	単管パイプ(2本/3m) $n = 42.0 \times 2 / 3.0$	本	28
	スタンドバリケード $n = 15.0 \times 2$	台	30

西大谷橋 足場仮設図1/3(参考図)

側面図 S=1:100



平面図 S=1:100



足場工数量表

仮設足場工 (m2)					
部位				面積	
	桁・橋台・橋脚・支承 補修足場	m2	TYPE A2	136	293
	防護柵 補修足場	m2	TYPE E	157	
	クリーンルーム設置足場	掛m2		18	

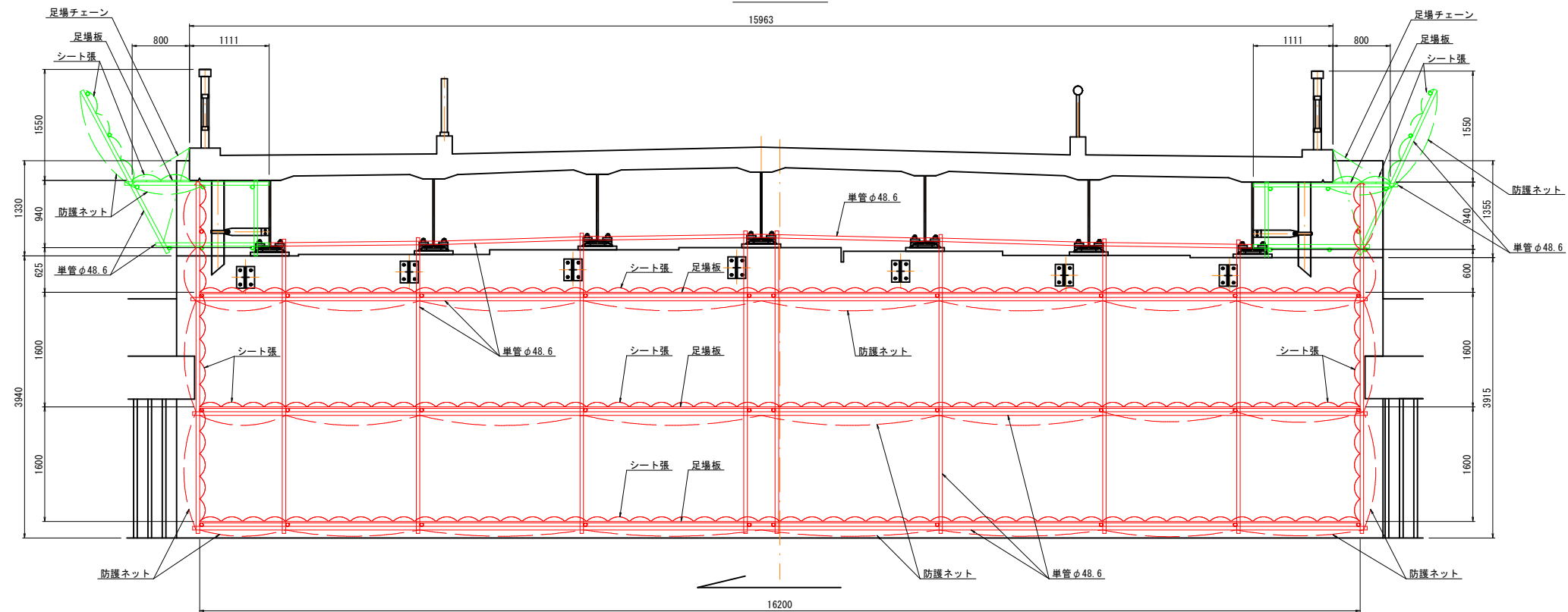
※1. 吊り足場の端部処理は、適宜設置を行うこと。
※2. 橋台吊り足場の最下段は、水位状況に応じ高さを決定する。

図面番号	第 3 枚 内 1 号
図面名称	市道昭和町大谷町 1 号線 西大谷橋 足場仮設図1/3(参考図)
縮 尺	図示 (A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	

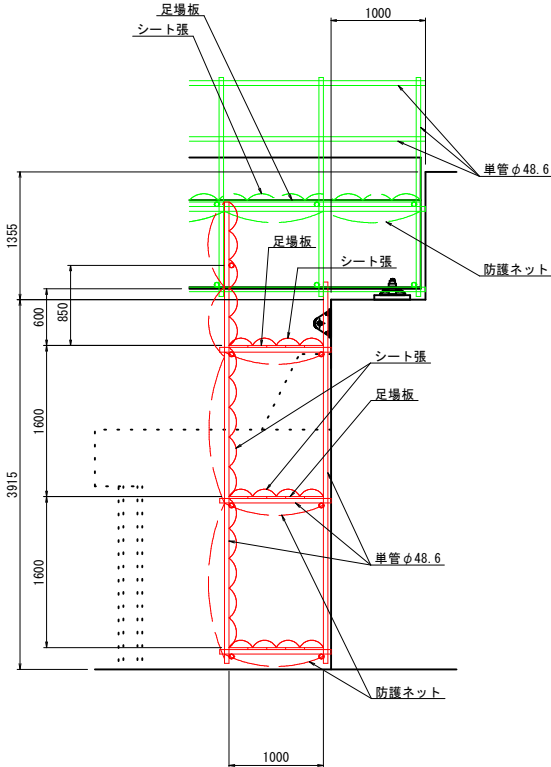
西大谷橋 足場仮設図2/3(参考図)

A1橋台

正面図

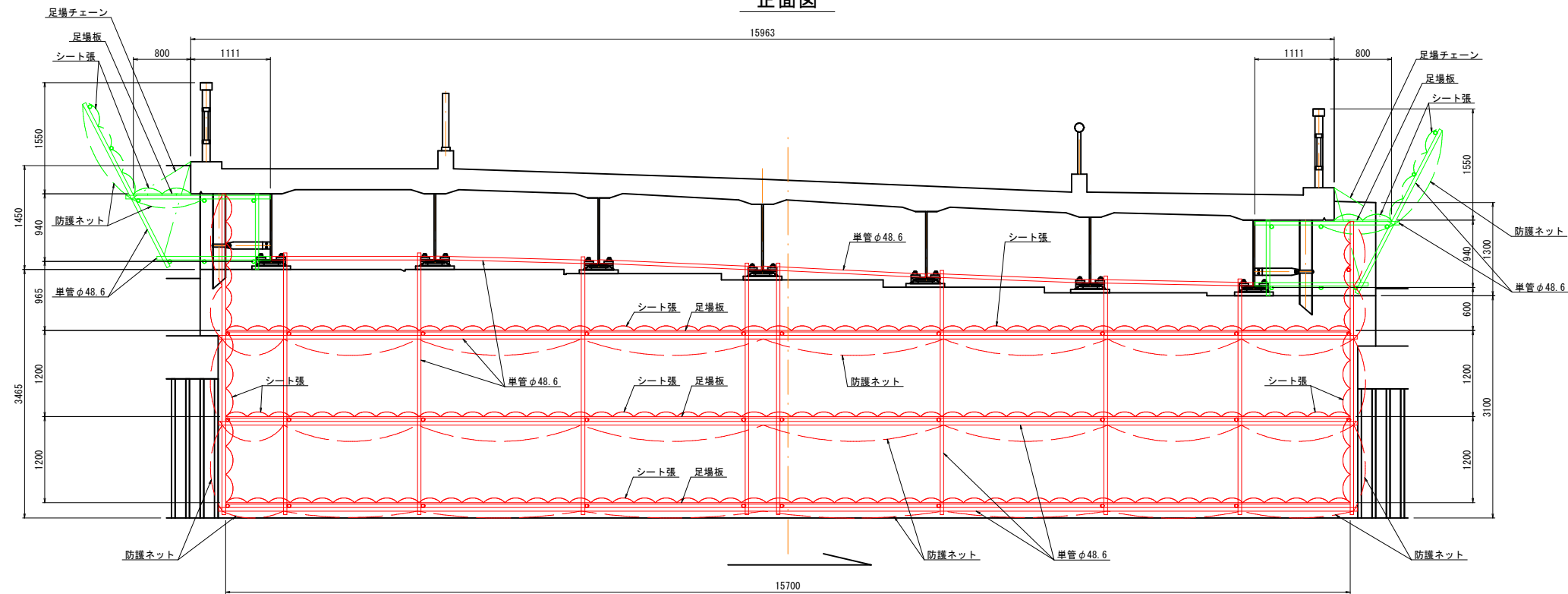


側面図
(上流側)

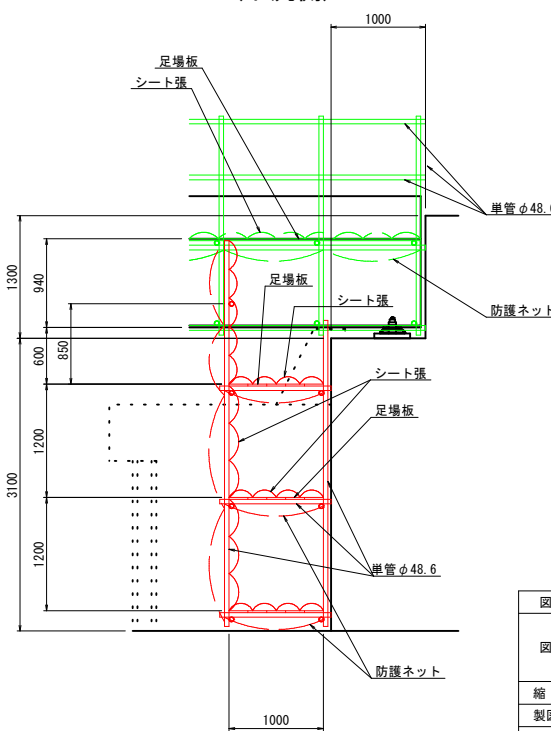


A2橋台

正面図



側面図
(下流側)



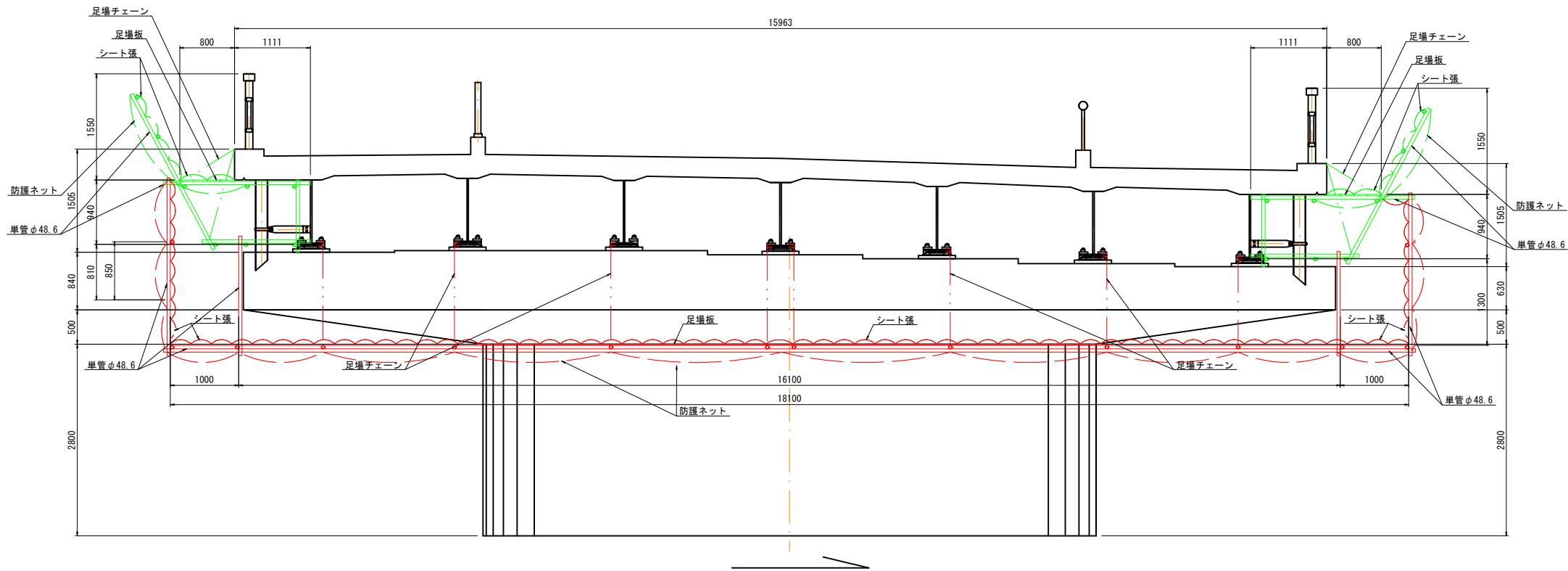
※ 橋台吊り足場の最下段は、水位状況に応じ高さを決定する。

図面番号	第 3 枚 内 2 号
図面名称	市道昭和町大谷町 1 号線 西大谷橋 足場仮設図2/3(参考図)
縮 尺	図示 (A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	

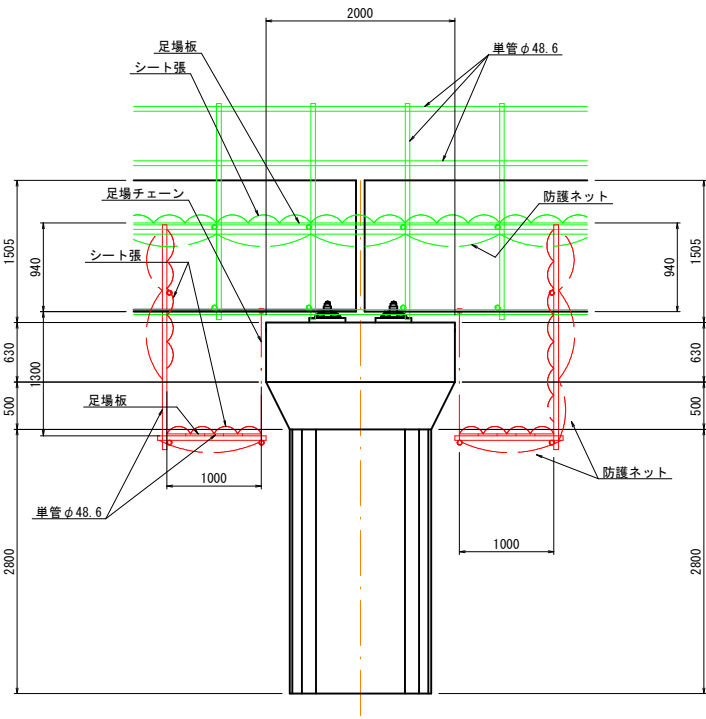
西大谷橋 足場仮設図3/3(参考図)

P1橋脚

正面図
(A1側)



側面図
(下流側)



図面番号	第 3 枚 内 3 号
図面名称	市道昭和町大谷町 1 号線 西大谷橋 足場仮設図3/3(参考図)
縮 尺	図示 (A3版は表示縮尺の1/2に縮小表示)
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市 都市整備部 道路整備課	